

平成 29 年度認知症に関する多職種連携研修会について(案)

連続講座「認知症ケアの向上と多職種連携」

目 的

団塊の世代が 75 歳以上となる平成 37 年（2025 年）に向け、認知症高齢者の増加が予想される中、認知症になっても住みなれた地域で暮らし続けることができるようにするためには、医療分野や介護分野の更なる連携強化が重要な課題となっている。

このような状況の中、それぞれの専門分野ごとに、認知症高齢者に対し何ができるかを考える機会とするとともに、それぞれの専門機関がつながり、支援を強化することの必要性についての理解を深めることを目的として、多職種連携研修会を開催する。

なお、今年度は連続講座として、医療分野・介護分野・法制度それぞれの専門家をお招きし、講演していただいた後、グループに分かれて事例検討等を行うものとする。

日 時	第 1 回	平成 29 年 10 月 21 日(土)	14:00～17:00
	第 2 回	平成 29 年 11 月 11 日(土)	14:00～17:00
	第 3 回	平成 29 年 11 月 18 日(土)	14:00～15:30

場 所 いずれの回も生駒市コミュニティセンター402～404 会議室

内 容

第 1 回 講師：厚生労働省老健局振興課

介護支援専門官 石山 麗子 氏

認知症の当事者及び家族のケアを実践していく上で、多職種連携は欠かせないものですが、具体的にそれぞれの職種がどのように役割を果たし、チームケアを実現させていくのかについて、参加者の皆様と事例を通して検討します。

介護職・医療職それぞれの職種が期待されている役割について再認識できる場を提供します。

第2回 講師：生駒総合法律事務所

弁護士 上崎 智代 氏

高齢化がますます進む生駒市において、単身や子どものない認知症の方の支援に戸惑い、悩むことは多々あると思います。

認知症高齢者の支援を巡り、成年後見制度の活用や、ともすればやむをえない措置等の必要性も考慮しながら、援助を続ける必要性があります。今回は、そうした事例を多職種で検討する中で、どの時点で何を行うかについて専門の弁護士の助言をいただきながら、学びを深めていきます。

第3回 講師：医療法人社団つくし会新田クリニック

理事長 新田 國夫 氏

認知症高齢者が初期の段階から終末期に至るまで、どのような経過をたどるかを振り返り、医療と介護がどのように連携を図ることがケアの向上につながるかを学びます。講師は厚生労働省の在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループの委員でもあり、最新の医療介護連携の現状や長年の在宅医療のご経験を踏まえた講話をお願いしています。地元国立市のクリニックにおいても認知症カフェを運営するなど、地域に根差した医療も展開しておられます。是非この機会に意見交換を行い、よりよい認知症医療やケアの向上に関するヒントを得ましょう。